

開講年次・時期	2年前期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	演習	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	CB230	科目名	プレゼンテーション演習	担当者名	本田 政邦
授業の概要	本講義では、従来のPowerPoint等のスライド作成と発表に加え、YouTubeサムネイルやSNS画像、ウェブライティングなど、消費者の購買意欲を刺激するマーケティング視点のプレゼン技法を学ぶ。プレゼンは単なる話し方ではなく、相手を動かすための手段であり、視線誘導による効果的なレイアウト・デザインが重要。さらに、生成AIや最新デジタルツールを活用し、即戦力となる知識・マインドを養いつつ、プロジェクト学習や企業連携を通じた実践的な学びも提供する。				
科目の到達目標	・プレゼンは「話す技術」ではなく、あくまで相手を動かすための手段であるという認識を持つ。 ・視線誘導など視覚的工夫を取り入れ、受け手の注意を効果的に引きつけるデザイン力を養う。 ・生成AIや最新デジタルツールを活用し、現代のマーケティング環境に即したデジタルリテラシーを向上させる。 ・プロジェクト型学習や企業連携を通じて、実社会で役立つチームワークやビジネススキルを身につける。				
DPの観点	②表現力:30%、④協調性:15%、⑥専門知識・技能:15%、⑦思考力:20%、⑧実践力:20%、				
授業時間外学修 (予習・復習)	・課題作成のための時間を要することがある。 ・ビジネスアイデアコンテストや研究発表会などの学外のプレゼンテーションに参加する可能性がある。 □				
フィードバックの方法	対面またはオンラインでフィードバックを行う。				
単位認定の要件	科目の到達目標達成に向けて積極的に取り組む姿勢を重視する。				
評価の方法・割合 (%)	授業内でのワーク(40%)、課題プレゼンテーション(60%)を総合的に評価する。				
履修上の注意事項	提出期限を守ること。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1	4/8		オリエンテーション、プレゼンは「相手を動かすこと」	②⑦	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
2	4/15		デジタルツールの導入と操作、視線誘導の重要性	④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
3	4/22		構造的なシナリオ、デザインの基本原則	②⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
4	5/7	曜日変更	自己紹介プレゼン①(構成)	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
5	5/13		自己紹介プレゼン②(スライド制作)	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
6	5/20		自己紹介プレゼン③(発表)	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
7	5/27		営業・マーケティング・ブランディングに関して	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
8	6/3		思わずクリックしてしまう広告やショート動画って？	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
9	6/10		YouTubeで刺さるサムネイルとタイトルを考える①(講座、ディスカッション)	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
10	6/17		YouTubeで刺さるサムネイルとタイトルを考える②(制作)	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
11	6/24		YouTubeで刺さるサムネイルとタイトルを考える③(発表と投票)	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
12	7/1		課題本をテーマとしたプレゼンテーション①(構成)	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
13	7/8		課題本をテーマとしたプレゼンテーション②(スライド制作)	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
14	7/15		課題本をテーマとしたプレゼンテーション③(発表)	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
15	7/22		まとめ	②④⑥⑦⑧	対面や、ロイロノート・Slack・Google・Canva等
期末試験	上記評価方法で評価するので実施しない。				

使用テキスト	「【改訂版】本当の自由を手に入れる お金の大学」 上記は科目に直接沿った内容のテキストではなく、プレゼンテーションの題材として使用予定です。
参考文献 参考URL	「プレゼンは「目線」で決まる——No.1プレゼン講師の 人を動かす全77メソッド」 https://amzn.asia/d/bic44iH
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--